

平成25年11月15日
東京電力株式会社

「2014年3月期第2四半期決算説明会」主なQ&A

【総合特別事業計画の見直しについて】

- Q：総合特別事業計画の見直しのポイントとして、どのようなものがありますか。
A：昨年5月の総合特別事業計画策定以降の状況の変化として、賠償や廃炉に係る見積費用があります。また、電力システム改革の動向を踏まえた計画を策定することになります。

【新設石炭火力発電による収支への影響について】

- Q：コスト削減策の一つである石炭火力発電の高稼働は、下期以降も続きそうですか。
A：今期に常陸那珂火力発電所2号機及び広野火力発電所6号機が試験運転を開始し、燃料費削減に大きく寄与しました。下期にはこれらの営業運転を予定しており、引き続き効果を見込むことが可能と考えております。

【下期及び来年度のコスト増加要因について】

- Q：今期はコスト削減を徹底したということですが、下期及び来年度のコスト増加要因として考えられるものは何でしょうか。
A：例えば修繕費に関して、上期は安全の確保及び安定供給を前提として削減を徹底しましたが、下期及び来年度については対応の必要性や繰延の可能性を精査しながら展開してまいりたいと考えております。

以 上